

南相馬航空宇宙産業研究会



Dr-One 1/4 スケールモデル



ガスタービンハイブリッドユニット 1/1 スケールモデル

* 企業PR・挨拶等

HIEN Aero Technologies株式会社は、eVTOLの開発企業です

HIEN Aero Technologies株式会社は、ハイブリッド・システムとユニークな機体により、実用的な航続距離を持つスケラブルなeVTOLの開発に取り組んでいます。

世界で開発が進められている電動エアモビリティに共通な、航続距離不足の問題を、日本が先行する技術であるハイブリッド・システムで解決します。

2022年には大型ドローン提案し、インフラ及び法整備のための実証実験や、危険区域の監視、貨物輸送等に向け受注を開始します。そして2025年の大阪・関西万博を目標に機体をスケラブルアップし、エア・タクシー・サービスの提供も可能な2人乗りeVTOLを開発、さらに2030年には6人乗りeVTOLを市場に投入することを目指します。

* 事業内容・営業品目

○ELECTRIC AIR MOBILITY

電動航空機ならびにeVTOL(電動垂直離着陸機)の研究、開発、製造、輸入及び販売

○POWER ELECTRONICS

電動航空機ならびにeVTOLに使用される電子部品、電子機器の開発、製造、輸入及び販売

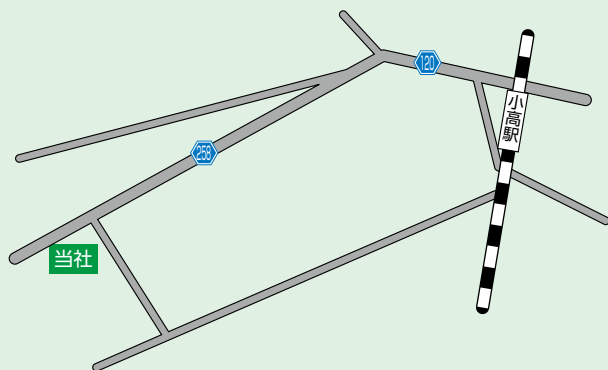
○UAM

アーバンエアモビリティに関する設備、機器の開発、製造、輸入、販売及びサービス

○SUSTAINABLE

サステナブル社会に貢献する環境改善技術の研究及び開発

* 会社概要



- 所在地 開発拠点：〒979-2162
福島県南相馬市小高区飯崎字南原65-1
本社：〒184-0002
東京都小金井市梶野町1-2-36
URL: <https://hien-aero.com/>
- 代表者 代表取締役 御法川 学
- 創業年 2021年(令和3年)12月
- 資本金 21,300千円
- 従業員数 4名
- 問合せ先 取締役CTO 谷津田 千一郎
TEL. 080-4733-3295
E-mail: info@hien-aero.com

当社の売りはこれだ!



スケラブルとは、私達の *eVTOL 開発の基本コンセプトです。模型飛行機の延長であるドローンと、航空機である旅客用 eVTOL とでは、技術要求や運用方法が根本的に異なります。

しかし、UAM が実現する社会では、大型ドローンは高ペイロード・長距離飛行が要求され、旅客用 eVTOL は従来の航空機より遙か低空をドローンと混在して飛行することになり、海外では両者の境界は無くなると考えられています。となると、機体アーキテクチャやパワーシステム、ソフトウェアは同一の概念で設計し、ニーズに応じてスケラブルに製造する必要があります。これは同時に、市場の成熟に合わせ、機体の開発をスケラブルに行うことでもあります。

私達は、日本の UAM 開発の中心である福島県浜通り地区において、人と人、技術と技術を結び、eVTOL 産業クラスターの中心的な役割を担うことを目標としています。

*eVTOL: electric Vertical Take-Off and Landing aircraft

* 連携先

- 法政大学アーバンエアモビリティ研究所
- 株式会社菊池製作所
- ツクバリカセイキ株式会社
- Omfabrica合同会社